

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 京都の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」では、2025 年度「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」をテーマに作品を募集しました。

この度、全国からの応募総数 29,854 作品(中学生の部:11,943 作品、高校生の部:17,911 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西・京都デスク(国際協力推進員※)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

※ 地域の JICA の窓口として、地域国際化協会など地方自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に JICA が配置しています。

世界との繋がりがますます深まる現在、未来のために、京都の中学生・高校生が何を考え、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、京都デスクへのインタビューが可能です。

【日程】 3月3日(火)15:30～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
綾部市立綾部中学校	国内機関長賞	1	人や国のつながり	綾部市宮代町 明知7
	学校賞(※)			

※60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校

【日程】 3月5日(木)12:15～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
学校法人永守学園京都先端 科学大学附属中学校	佳作	2	地球のためにしたいこと	京都市右京区 花園寺ノ中町8
	特別学校賞(※)			
学校法人永守学園京都先端 科学大学附属高等学校	国内機関長賞	2	理想は遠くても行動はすぐ	
	特別学校賞(※)			

(※)5 年以上連続で学校賞(60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校)を受賞した学校が対象

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課
TEL:078-261-0384

<参考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 綾部市立綾部中学校 1年

タイトル:人や国のつながり

夏休みに日本語教室のボランティアに参加し、外国の方に日本語を教えたり会話したりした。出身国や宗教、またそれぞれの国の有名なものや場所の話で盛り上がり、初めての経験で新鮮で楽しかったと同時にその国に行ってみたくなった。このボランティアを通して、国と国とのつながりに興味をもつようになり、SDGs の「人や国の不平等をなくそう」にもつながると考えるようになった。今の日本の課題は外国人労働者の増加や労働環境改善、コミュニケーション不足であることを知った。日本語教室はその課題を改善するのに効果的だ。そして外国の方が日本語を少しでも理解すると会話ができ、助け合える。平等な社会に向け、外国人との関係性を見直す事が大切だ。人や国の不平等をなくすために、多くの人と関わり、互いが尊重し支えあうことが大切だと思う。ボランティアは私にもプラスになったので、これからも積極的に参加していきたい。

●国内機関長賞 京都先端科学大学附属高等学校 2年

タイトル:理想は遠くても行動はすぐ

「世界のために」とは立派なことだが、戦争、環境問題などの課題に直面すると、個人の行動がどこまで意味があるのかが疑わしくなる。だからこそ「できること」を模索しなければならない。第一に、人との関わりを大切にすることが平和につながる。思いやりは人を支えるが、現実では常に優しくできない。それでも人を大切にしようとする姿勢が社会の空気を変えていく。第二に、多様性についてよく言及されるが、「違いを理解する」事は簡単ではない。価値観が変わるときは摩擦が生じる。頭ごなしに排除するのではなく「なぜそう考えるのか」と一度立ち止まることが大切だ。多様性の尊重とは「分かり合えない現実を前提に、衝突を和らげる努力」を続ける事だ。第三に、環境や持続可能性への配慮も欠かせない。環境に対する個人の行動は微々たるものだが、環境を意識した選択は別の意味があり、「問題を意識する人が存在している」というメッセージ発信になる。そして、消費行動→市場→政策の変化につながる。「世界の幸せ」は綺麗事では語れないが、完全でなくとも、「少しましな行動」を選び続ける事が世界の幸せにつながる唯一の道であると考え、諦めずに小さな選択を積み重ねる。そこから世界の幸せは生まれる。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,042	329	1,371
京都府	579	742	1,321
大阪府	597	1,093	1,690
兵庫県	237	675	912
奈良県	151	80	231
和歌山県	159	19	178
計	2,765	2,938	5,703

賞の種類(中学生・高校生共通)

個人賞	最優秀賞	3名
	(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
	優秀賞	3名
	審査員特別賞	4名
	国際協力特別賞	10名
	国内機関長賞	各都道府県1名以下
	佳作	70名程度
	【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修	
	その他個人賞:フェアトレード商品	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募	
	(副賞:表彰メダル)	
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)	

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2025 年度は高校生の部が 64 回目、中学生の部は 30 回目を迎える事業。

中学生の部の審査員長は尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部の審査員長は星野知子氏(俳優・エッセイスト)に担っていただいた。

今年度をもって本事業は終了する。今後 JICA は、探求学習に活用できる教材の提供や JICA 海外協力隊等のオンライン出前講座の拡充などを通じて、新たな形で中高生の学びを支援していく。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QR コード参照)

